調べるってわくわくするね♪～Let`s 博士タイム～

2026.7.15　そらぐみ⑰

出席ノートの世界で遊んでいる尾上幼稚園。７月は海辺の生き物！出席ノートのシールは、“イトマキヒトデ”“ウメボシイソギンチャク”“シロウミウシ”“アカテガニ”…？？？子ども達は知っているのかな？見たことあるのかな？子どもが未知の生き物を知り、興味をもち、親しみを感じられる方法は…
よし！調べてみよう♪（そら組にぴったりな方法♡）題して…“博士タイム”！





こう書いたらわかるかな？

誰かに知らせたい！

シロウミウシはこんなふうに動くんかぁ…

パソコンを使って知りたいことを検索！
「目はどこにあるん？」「ツノは何につかうのかな？」「何を食べるんだろう？」「どこに住んでるのかなぁ？」など自分の知りたいこと、気になることなどいろいろな観点から調べて、分かったことを皆で共有しながら書く、切る、貼るの役割分担をして字や写真でまとめてみることにしました。





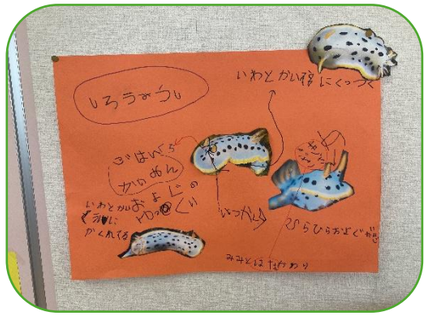
ウメボシ
イソギンチャク
ってこんな感じ♪



書くことに挑戦！







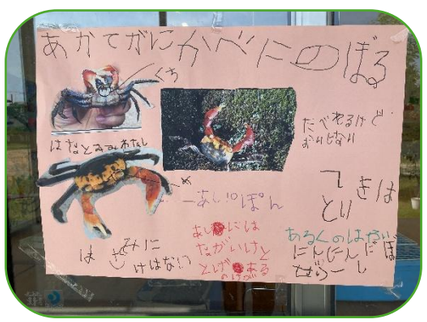
イトマキヒトデは
耳なし！鼻なし！



へぇ～



はな組に知らせてあげよう！と博士タイムで知ったことを自分達の言葉で一生懸命伝えようとしています。



子ども達に本物を触らせてあげたい！という教師の思いに力を貸してくださったのがみなほ君のお父さん！イトマキヒトデを筆頭にいろいろなヒトデを持ってきてくれました！

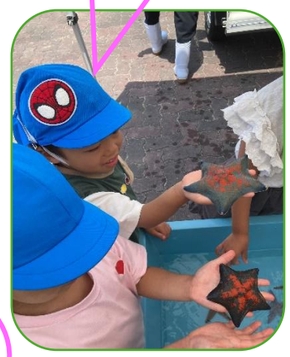




目がちこあってね…
こことここと…



やっぱり
口ここにある！



イトマキヒトデの
体、かたいなぁ



出合ったことのない生き物にどう気持ちを向けるか…“知る”ことが興味をもつ第一歩と考え、調べることにしました。“子どもが知りたいこと”を大切にし、住んでいる場所から存在する意味まで子どもから出た幅広い疑問を検索して、子どもに分かるように話したり映像を見たり自分の体を使って表現したりして生き物に心を寄せられるような、そして知ること、分かることの面白さを感じられるような時間を意識しました。また、博士タイムでクラスで共有するだけでなく、博士としてはな組に伝え、「へ～」「えーそうなん！？」と驚きや不思議さの反応を受け取ることで満足感やもっと知りたい、もっと伝えたいという意欲、自信、つながる楽しさを積み重ねる機会となっていると思います。さらにその知ったことが体験とつながる機会を子ども達に提供できたことがとても嬉しいです。保護者の方が一緒に楽しんでくださり、子どものことを思ってご協力いただけることがいつもありがたいです。